

共 通 教 育

「学生による授業評価」ならびに
「教員のFD活動レポート」

報 告 書

平成17年度(前学期)



平成18年 3 月

宮 崎 大 学

平成18年3月

教員 各位

共通教育部自己点検・評価委員会

委員長 西森利数

**共通教育「学生による授業評価」ならびに「教員のFD活動レポート」
報告書の作成にあたって**

平成16年4月からは宮崎大学は国立大学法人宮崎大学となり、法人として中期目標・中期計画を作成し、6年後には中期目標を達成する必要がある。その中で、学生による授業評価は達成目標の一つに挙げられている。

そこで、共通教育部としては、平成16年度に続いて平成17年度においても前・後学期に開講された全科目に対して、「学生による授業評価」と「教員のFD活動レポート」をアンケートの形で実施した。この「学生による授業評価」と「教員のFD活動レポート」の結果は共通教育を充実するための貴重な資料であり、本年度もその結果を分析し、報告書という形で公表することとした。このことにより、学生による授業評価の実施が単なる評価の実施に終わるのではなく、次年度開講する授業を改善するための一つの指標となり、この評価結果は共通教育を充実・発展させるために欠くことのできない資料になり得ると信じている。

平成16年度前・後期分の「学生による授業評価」の解析結果については皆様方の手元に届いていると思います。この度、平成17年度前学期分の「学生による授業評価」および「教員のFD活動レポート」の解析結果を「学生による授業評価」ならびに「教員のFD活動レポート」報告書（平成17年度前学期）」として公表します。この報告書には平成16年度から解析してきている「学生による授業評価」と「教員のFD活動レポート」の分析結果に加えて、新たに「平成16年度前学期と平成17年度前学期の評価結果の比較」が記載されています。この報告書に記載されている結果を真摯に受け止めると共に、学生による授業評価の結果を昨年度の評価結果と比較することにより次年度の授業に対する改善点の一部が明確になってくると思います。

この報告書が教員のFD活動に利用され、授業が質的に向上するための一助になることを切に望んでいます。

目 次

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート	1
第2章 評価結果の分析(前年同学期との比較)	5
【1】全科目の平均について	5
【1-1】全科目平均の前年同学期との比較	6
【2】科目群ごとの分析	7
【2-1】大学教育基礎科目(前年同学期との比較)	8
【2-2】主題教養科目(前年同学期との比較)	9
【2-3】選択教養科目・専門基礎科目(前年同学期との比較)	10
第3章 教員によるFD活動レポート	11
【1】学生による評価と教員の自己評価の比較	11
【2】教員のFDレポート	13
【2-1】日本語コミュニケーション	14
【2-2】情報科学入門	16
【2-3】英語・コミュニケーション英語	17
【2-4】初修外国語	20
【2-5】健康スポーツ科学	21
【2-6】主題教養科目	22
【2-7】選択教養科目・専門基礎科目	27
第4章 科目ごとのデータ一覧	28
第5章 本調査の今後の課題	40
「共通教育部自己点検・評価委員会」委員名簿	42

第1章 実施の記録・調査票・結果報告書・FD活動レポート

平成17年度前学期の共通教育科目についての「学生による授業評価」は次のように実施された。

実 施 時 期	平成17年(2005年)7月上旬の授業期間中。
対 象 科 目	すべての共通教育科目(287科目)。
実 施 方 法	実務は学生部学生課と大学教育研究企画センターが担当し、各科目の登録学生数に応じた枚数の調査票をあらかじめ用意し各教員に配布した。各教員は授業時間内に学生に調査票を配布して調査を実施し、ただちに回収した。その後、大学教育研究企画センターが集計作業を行った。
回 収 率	82%(287科目中、235科目を回収した。)
返 却	各教員へは調査票の現物とともに「結果報告書」が返却された。
報 告	すべての科目の集計結果が共通教育部自己点検・評価委員会に報告された。本報告書は当該報告に基づき同委員会が作成した。
FD活動レポート	FD活動レポートは、所定の用紙を各教員に配布し、記入の後、学生用調査票とともに提出してもらった。 提出率は68%(287科目中、196科目分のFD活動レポートが提出された。)

※調査票・結果報告書・FD活動レポートの現物を以下に掲載した。なお、実際には、「科目コード」「授業科目」「担当教員」の〇〇の部分にデータがあらかじめ記入されている。

※平成17年度後学期の授業評価は平成18年1月に実施され、211科目中195科目を回収した。(回収92%)。FD活動レポートは128科目中94科目分が提出された。(提出率73%)。

現在、データを集計・入力中であり、近日中に報告書としてまとめられる予定である。

※なお、前回報告書(平成16年度後学期分)の32ページ1行目の「前学期のすべての共通教育科目」を「後学期のすべての共通教育科目」に訂正する。

記入にあたっては、真剣に、かつ、率直な評価をしてください。この調査を教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ります。なお、この調査とあなたの成績とは一切関係ありません。

科目コード: ○ ○ ○ 授業科目: ○ ○ ○

担当教員: ○ ○ ○

達成目標: ○○○○することを通して○○○できるようになる。

I. 質問項目:

A: 受講・勉学態度等に関して

- 1 私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。
- 2 私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
予習や復習/重要事項の書き留め/課題の提出/授業内・外での教師への質問(オフィスアワーの活用)、等
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B: 担当教員の教授技法や授業内容等に関して

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。
教室の照明/空調/机・椅子などの備品の状態、等

D: 総合的な授業評価

- 12 この授業は満足できるものだった。

II. 回答欄:

所属等: 学籍番号のはじめの4ケタを記入してください。

次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④～①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④: あてはまる ③: ややあてはまる ②: あまりあてはまらない ①: あてはまらない

		マーク欄				自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想)
A	1	④	③	②	①	
	2	④	③	②	①	
	3	④	③	②	①	
B	4	④	③	②	①	
	5	④	③	②	①	
	6	④	③	②	①	
	7	④	③	②	①	
	8	④	③	②	①	
	9	④	③	②	①	
C	10	④	③	②	①	
	11	④	③	②	①	
D	12	④	③	②	①	

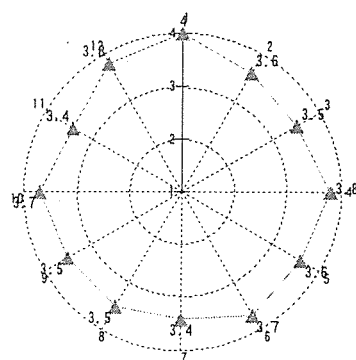
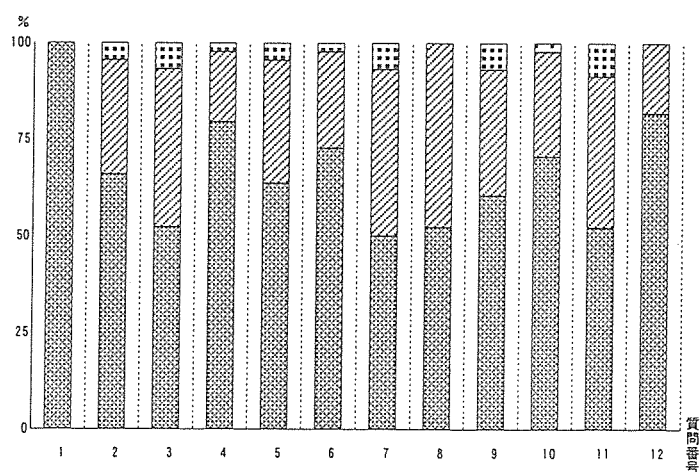
III. その他、この授業について、よかったこと、改善を求めたいこと、等の意見や感想を自由に述べてください。

「学生による授業評価」の結果報告書

科目コード	〇 〇 〇	科目区分	共通教育		
授業科目	〇 〇 〇				
担当教官	1 〇 〇 〇	実施時期	平成17年度 前学期	回答者数	44

I. 集計結果

No.	質問項目	4	3	2	1	合計
1	私(回答者自身)は75%以上授業に出席した。	44				44
2	私(回答者自身)は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。	29	13	2		44
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	23	18	3		44
4	授業はシラバスに沿って行われた。	35	8	1		44
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	28	14	2		44
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。	32	11	1		44
7	重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。	22	19	3		44
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	23	21			44
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	26	14	3		43
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。	31	12		1	44
11	学習環境は適切だった。	24	18	4		46
12	この授業は満足できるものだった。	36	8			44
		353	156	19	1	529



II. 受講生の授業評価を受けて、分かったこと、感想、改善すべきことなど
回答用紙で確認ください。

この調査は教員の授業改善につなげ、共通教育の充実を図ることを目的としています。記入にあたっては、各授業科目毎に率直に自分の授業を点検してください。

科目コード: ○ ○ ○ 授業科目: ○ ○ ○

担当教員: ○ ○ ○

I. 質問項目:

回答者名: ()

A: 授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検してください。

- 1 シラバスに沿って授業を行えた。
- 2 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。
- 3 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。
- 4 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。
- 5 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。
- 6 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。
- 7 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。
- 8 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

B: FD活動についてお尋ねします。

- 9 この授業科目に関してこの1年間取り組んだFD活動を選んでください。（複数回答可）
①他教員の授業参観 ②学内外のFD講演会等への参加 ③他大学のFD活動の視察 ④その他
- 10 今後取り組もうと考えているFD活動を選んでください。（複数回答可）
①他教員の授業参観 ②学内外のFD講演会等への参加 ③他大学のFD活動の視察 ④その他

注: 学内外のFD講演会等への参加、他大学のFD活動の視察及びその他予算措置の必要な企画については予算措置が講じられます。別途ご案内します。

II. 回答欄:

1～8について: 次の4段階評価に従って、最も適切な数字(④～①)を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

④:あてはまる ③:ややあてはまる ②:あまりあてはまらない ①:あてはまらない

9～10について: 質問に対応する適切な数字を選んで、該当する丸数字を黒く塗りつぶしてください。

		マーク欄				自由記述欄(左の項目に関連した意見や感想)
A	1	④	③	②	①	
	2	④	③	②	①	
	3	④	③	②	①	
	4	④	③	②	①	
	5	④	③	②	①	
	6	④	③	②	①	
	7	④	③	②	①	
	8	④	③	②	①	
B	9	①	②	③	④	④の場合具体的に:
	10	①	②	③	④	④の場合具体的に:

III. 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、このFD活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

第2章 評価結果の分析(前年同学期との比較)

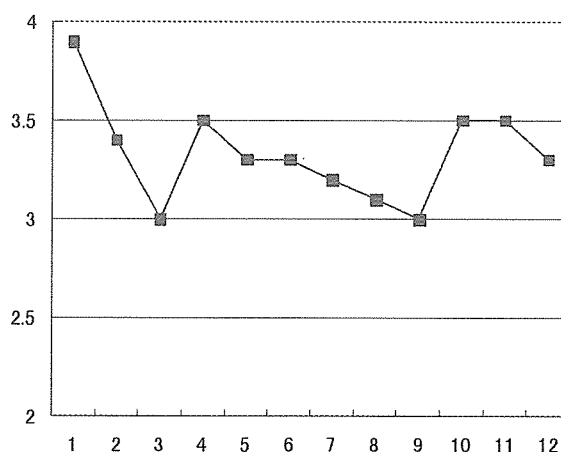
【1】全科目の平均について

質問項目ごとにすべての共通教育科目(全287科目のうち回収された235科目)の評価の平均を計算すると次の表のようになった。

質問項目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目の平均	3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.3

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価で行われている。

上の表をグラフにすると右のようになる。横軸は質問項目を、縦軸は評価を表している。



(※縦軸の評価2未満の部分は省略した。)

また、質問項目は以下の12項目である。

A: 回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B: 担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C: その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D: 総合的な授業評価

- 12 満足できる授業だった。

【1-1】全科目平均の前年同学期との比較

前年(平成16年度)前学期にもすべての科目を対象に学生による授業評価が実施されている。約230の同じ科目について1年後に同じ調査を実施したことになる。そこで、前回の結果と今回の結果を比較して、この1年間にどれほどの改善がなされたかを見てみよう。(ただし、16年度前学期には質問3と質問10はなかったので空欄にしてある。)

質 問 項 目	学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
16年度前学期	3.9	3.4		3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9		3.4	3.2
17年度前学期	3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.3

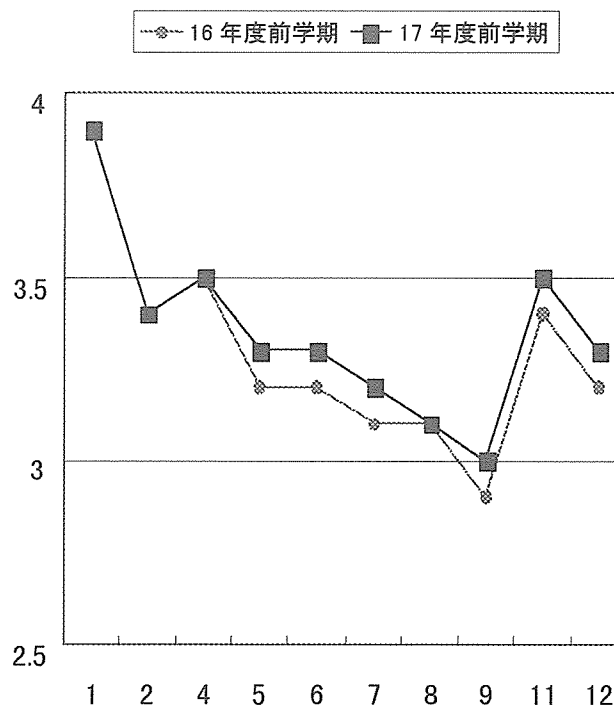
これをグラフにすると右のとおりである。

このグラフを見ると、ほとんどすべての項目に関して学生の評価が上がっていることが分かる。

質問1と2は学生自身についての質問であり、前年と変化はない。

質問4～9は教員の教え方についての質問であるが、改善されたことが明らかにうかがえる。

質問11の「学習環境」も空調の整備などが行われた結果であろう。



この1年間で共通教育への学生の評価は上がった。

したがって、次のように言ってよいであろう。

共通教育のFD活動は成果をあげつつある。

【2】科目群ごとの平均

共通教育科目を17の科目群に分類した場合の評価の平均は次の通りである。なお、かつこ内の科目数は開講科目数ではなく、授業評価が提出された科目数である。

質問項目		学生自身			教員の教え方など						学習環境		総合
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全科目平均		3.9	3.4	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.5	3.5	3.3
大学 教育 基礎 科目	(1)日本語コミュニケーション(22 科目)	4.0	3.6	3.2	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	3.7	3.5	3.3
	(2)情報処理入門(20 科目)	4.0	3.6	3.3	3.6	3.2	3.3	3.2	3.2	3.1	3.7	3.7	3.4
	(3)英語(29 科目)	3.9	3.3	2.9	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	3.7	3.6	3.3
	(4)コミュニケーション英語(28 科目)	4.0	3.4	2.9	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.3	3.7	3.6	3.4
	(5)初修外国語(32 科目)	3.9	3.3	2.9	3.5	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2	3.5	3.5	3.3
	(6)保健体育科目(5 科目)	4.0	3.8	3.5	3.7	3.7	3.8	3.6	3.6	2.9	3.5	3.2	3.8
主題 教養 科目	(7)現代の社会と倫理(3 科目)	3.9	3.2	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	2.6	3.1	3.1	3.2
	(8)人間と文化(11 科目)	3.9	3.2	2.8	3.2	2.9	2.9	2.7	2.9	2.4	3.2	3.5	3.0
	(9)現代社会の課題(9 科目)	3.9	3.1	2.9	3.4	3.3	3.1	3.1	3.0	2.6	3.4	3.6	3.1
	(10)自然と生命(21 科目)	3.9	3.2	2.8	3.5	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	3.4	3.3	3.1
選択 教養 科目	(11)文化・社会系(13 科目)	3.9	3.3	3.0	3.5	3.1	3.0	3.0	3.0	2.6	3.3	3.5	3.1
	(12)科学・技術系(11 科目)	3.9	3.2	2.9	3.3	3.0	3.1	3.0	3.0	2.5	3.4	3.4	3.1
	(13)生命科学系(7 科目)	3.9	3.1	2.9	3.4	3.0	3.1	3.0	2.9	2.6	3.5	3.4	3.0
	(14)複合・学際系(3 科目)	3.9	3.5	3.3	3.8	3.5	3.6	3.5	3.4	2.9	3.7	3.6	3.5
	(15)生涯学習系(5 科目)	3.9	3.6	3.4	3.7	3.7	3.5	3.4	3.4	2.7	3.6	3.6	3.6
	(16)外国語系(8 科目)	3.6	3.3	3.0	3.5	3.2	3.2	3.0	3.0	3.1	3.4	3.4	3.2
(17)専門基礎(6 科目)		3.8	3.4	3.2	3.6	3.3	3.4	3.4	3.3	3.2	3.5	3.6	3.4

以下、各科目群ごとに前年(平成16年度)前学期と比較していこう。ただし、質問3と質問10は今年度から付け加わった項目なので省略する。その際、評価が上がった項目には★を、下がった項目には▽をつける。

以下のページで★は評価が上がったことを示す。

【2-1】大学教育基礎科目(前年同学期との比較)

各科目群ごとに前年同学期(平成16年度前学期)の評価結果と比較する。前年よりも評価が上がった項目には★を、下がった項目には▽を数字の上に付けてある。

まず、大学教育基礎科目について★と▽を付けてみよう。

			学生自身		教員の教え方など						環境	総合
質問項目			1	2	4	5	6	7	8	9	11	12
大学 教育 基 礎 科 目	(1)日本語コミュニケーション	16前	3.9	3.6	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.4	3.2
		17前	★ 4.0	3.6	★ 3.5	★ 3.4	★ 3.4	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.2	★ 3.5	★ 3.3
	(2)情報処理入門	16前	4.0	3.6	3.5	3.1	3.2	3.0	3.1	2.9	3.6	3.3
		17前	4.0	3.6	★ 3.6	★ 3.2	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.2	★ 3.1	★ 3.7	★ 3.4
	(3)英語	16前	3.9	3.3	3.5	3.2	3.2	3.0	3.0	3.1	3.6	3.2
		17前	3.9	3.3	3.5	★ 3.3	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.1	3.1	3.6	★ 3.3
	(4)コミュニケーション英語	16前	3.9	3.2	3.5	3.3	3.4	3.1	3.2	3.3	3.7	3.4
		17前	3.9	3.3	3.5	★ 3.3	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.1	3.1	3.6	★ 3.3
	(5)初修外国語	16前	3.9	3.4	3.4	3.2	3.1	3.1	2.9	3.2	3.6	3.2
		17前	3.9	▽ 3.3	★ 3.5	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.2	★ 3.0	3.2	▽ 3.5	★ 3.3
	(6)保健体育科目	16前	4.0	3.9	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.0	3.3	3.7
		17前	4.0	▽ 3.8	3.7	3.7	★ 3.8	3.6	▽ 3.6	▽ 2.9	▽ 3.2	★ 3.8

教員の教え方(質問4～9)に関して、学生の評価が上がっていることがよく分かる。特に、日本語コミュニケーションと情報処理入門はすべての項目に関して評価が上がっている。また、英語・コミュニケーション英語・初修外国語に関しても教え方に関して下がった項目はない。

特筆すべきは、質問12(「総合的に評価して満足できる授業だった」)への評価がどの科目群も上がっていることである。

大学教育基礎科目の教え方への評価は上がっている。

【2-2】主題教養科目(前年同学期との比較)

次に、主題教養科目について★と▽を付けてみよう。

			学生自身		教員の教え方など						環境	総合
質問項目			1	2	4	5	6	7	8	9	11	12
主題 教養 科目	(7)現代の社会と倫理	16前	4.0	3.3	3.5	3.1	3.1	2.9	2.9	2.3	3.1	3.0
		17前	▽ 3.9	▽ 3.2	3.5	★ 3.3	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.2	★ 2.6	3.1	★ 3.2
	(8)人間と文化	16前	3.9	3.1	3.2	2.8	2.8	2.7	2.7	2.4	3.2	2.8
		17前	3.9	★ 3.2	3.2	★ 2.9	★ 2.9	2.7	★ 2.9	2.4	★ 3.5	★ 3.0
	(9)現代社会の課題	16前	3.8	3.1	3.4	3.2	3.1	3.1	2.9	2.4	3.1	3.1
		17前	★ 3.9	3.1	3.4	★ 3.3	3.1	3.1	★ 3.0	★ 2.6	★ 3.6	3.1
	(10)自然と生命	16前	3.9	3.2	3.5	3.0	3.1	2.9	2.7	2.7	3.1	2.9
		17前	3.9	3.2	3.5	★ 3.1	3.1	★ 3.0	★ 2.8	★ 2.8	★ 3.3	★ 3.1

主題教養科目に関しても、同様に、教員の教え方や総合評価が上昇していることが分かる。

評価が「3未満」の項目の数も、「現代の社会と倫理」は「3→1」、「人間と文化」は「6→5」、「現代社会の課題」は「2→1」、「自然と生命」は「4→2」というふうに、改善の兆しがある。

主題教養科目の評価も上がりつつある。

【2-3】選択教養科目・専門基礎科目（前年同学期との比較）

次に、選択教養科目と専門基礎科目について★と▽を付けてみよう。

			学生自身		教員の教え方など						環境	総合
質問項目			1	2	4	5	6	7	8	9	11	12
選択教養科目	(11) 文化・社会系	16前	3.8	3.3	3.4	3.1	3.1	3.0	3.0	2.5	3.4	3.2
		17前	★ 3.9	3.3	★ 3.5	3.1	▽ 3.0	3.0	3.0	★ 2.6	★ 3.5	▽ 3.1
	(12) 科学・技術系	16前	3.9	3.2	3.3	2.9	3.0	2.9	2.8	2.5	3.0	3.0
		17前	3.9	3.2	3.3	★ 3.0	★ 3.1	★ 3.0	★ 3.0	2.5	★ 3.4	★ 3.1
	(13) 生命科学系	16前	4.0	3.3	3.4	2.8	2.9	2.8	2.8	2.3	3.5	3.0
		17前	▽ 3.9	▽ 3.1	3.4	★ 3.0	★ 3.1	★ 3.0	★ 2.9	★ 2.6	▽ 3.4	3.0
	(14) 複合・学際系	16前	4.0	3.4	3.7	3.5	3.6	3.4	3.3	2.4	3.5	3.5
		17前	▽ 3.9	★ 3.5	★ 3.8	3.5	3.6	★ 3.5	★ 3.4	★ 2.9	★ 3.6	3.5
	(15) 生涯学習系	16前	3.9	3.9	3.9	3.9	3.6	3.5	3.8	3.0	3.4	3.7
		17前	3.9	▽ 3.6	▽ 3.7	▽ 3.7	▽ 3.5	▽ 3.4	▽ 3.4	▽ 2.7	★ 3.6	▽ 3.6
	(16) 外国語系	16前	3.9	3.4	3.7	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.7	3.4
		17前	▽ 3.6	▽ 3.3	▽ 3.5	▽ 3.2	▽ 3.2	▽ 3.0	▽ 3.0	3.1	▽ 3.4	▽ 3.2
	(17) 専門基礎科目	16前	3.9	3.6	3.7	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0	3.4	3.1
		17前	▽ 3.8	▽ 3.4	▽ 3.6	▽ 3.3	★ 3.4	★ 3.4	★ 3.3	★ 3.2	★ 3.6	★ 3.4

科学・技術系，生命科学系，複合・学際系の選択科目および専門基礎科目に関して，評価がやや上がっていることが分かる。

生涯学習系と外国語系に関しては，評価が多少下がっているが，実は，「学生による授業評価」の提出数が，生涯学習系の場合，2科目（16年度）から5科目（17年度）へ，外国語系の場合，4科目（16年度）から8科目（17年度）へ倍増しているため，正確な比較はできない。

科学・技術系の選択科目の評価が上がった。

第3章 教員によるFD活動レポート

【1】学生による評価と教員の自己評価の比較

「学生による授業評価」の質問項目と「教員のFD活動レポート」の質問項目とは次のように対応している。

学生による授業評価		教員のFD活動レポート	
1	私は75%以上授業に出席した。		
2	私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。		
3	私はこの科目の「達成目標」に到達した。	8	シラバスに掲げた当初の授業目標(ねらい)は達成された。
4	授業はシラバスに沿って行われた。	1	シラバスに沿って授業を行えた。
5	授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。	2	学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。
6	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。	3	話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
7	重要なポイントが明らかで、説明も分かり易かった。	4	重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。
8	学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。	5	学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。
9	授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。	6	授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。
10	クラスサイズ(受講生数)は適切だった。		
11	学習環境は適切だった。		
12	満足できる授業だった。	7	総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

そこで、「学生による授業評価」の質問3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12について「教員のFD活動レポート」の対応項目との全科目平均の比較を行なおう。

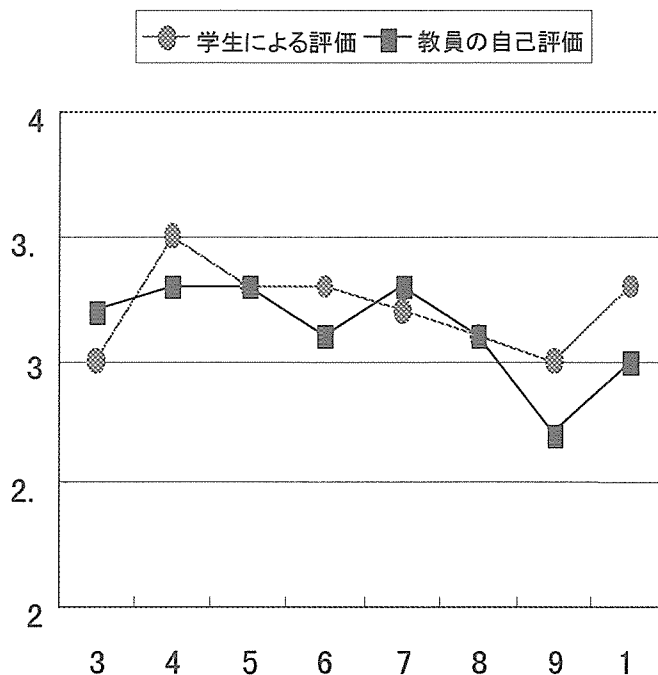
まず、対応する評価結果を並べると次の表ようになる。

質問項目	3	4	5	6	7	8	9	12
学生による評価	3.0	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.3
教員の自己評価	3.2	3.3	3.3	3.1	3.3	3.1	2.7	3.0

次にこれをグラフにすると、右のとおりである。

学生による評価と教員の自己評価はほぼ対応していることが分かる。

学生の評価の方が教員の自己評価よりも高い項目は、4(授業はシラバスに沿って行われた)、6(話し方等が適切だった)、9(予習・復習を課した)、12(満足できる授業だった)であり、逆に、学生の評価の方が低いのは、3(達成目標に到達した)、7(重要なポイントが明らかだった)である。



達成目標への到達度に関して学生は採点が辛い。

授業の満足度に関して教員より学生の方が評価が高い。

【2】教員のFDレポート

以下に、教員のFDレポートの自由記述を科目群別に紹介する。また、それぞれ「これまでのFD活動」と「今後のFD活動の予定」についても紹介した。以下のとおりである。

【2-1】日本語コミュニケーション	14
【2-2】情報科学入門	16
【2-3】英語・コミュニケーション英語	17
【2-4】初修外国語	20
【2-5】健康スポーツ科学	21
【2-6】主題教養科目	22
【2-7】選択教養科目・専門基礎科目	27

【2-1】日本語コミュニケーション

- ・学科の意見を反映して小論文作成、日本語ドリルを新たに導入した。
- ・レポートの書き方を担当したが、準備不足で教師の一方的なレクチャアに終わってしまった。小さなものでも実際にレポートを書かせる機会を作るべきだったと反省している。しかし、全体としては、学生の評価も良く結果は悪くなかったようで安心した。
- ・学生のコミュニケーション能力を引き出す工夫をした。
- ・学生の反応の個人差が大きすぎることを痛感する。自分の意見が言えない学生から自ら発言するものまでいて、グループでの対応も難しい。
- ・希少価値あるビデオを見せて感想を書かせたり述べさせたりしているが、欠席し提出しなかったり意見を述べない学生がいる。レベルをどこに置くべきか毎回考えさせられる。
- ・予習復習としてレポートなどを課した。
- ・常に学生の理解力を測りながら進めている。ただし、毎時間、新たに教えるべきことがあるので、予習の指示ができないこともありうる。少なくとも文学系の授業ではA6「予習・復習あるいは発展学習を課したか」という評価項目は適切とは言えない。
- ・学生の興味関心が高い内容を柱として授業を組み立てることはできたと判断される。しかし、学生の学習意欲の向上という点ではもう少し幅広い文献等の紹介に力を入れるべきであったと反省される。
- ・課題内容を対比させるようなビデオを観てもらい、感想文や意見をレポートで提出させた。
- ・この授業では学生各人の目標を設定することができた。できれば目標に対する行動(結果)が得られるような内容をできるように工夫したい。
- ・昨年度の授業評価から、座学だけでなく、演習を大幅に増やした。また、担当(演習)を2人で行なうようにした。その結果、授業評価の各項目の評価値は明らかに上昇している。来年度は、演習の内容についてさらなる検討を行なう予定にしている。
- ・学習内容を明確に設定できなかった。
- ・学生自身に意見を発表させたり、作業させる機会がうまく作れなかった。
- ・日本語で論理的に文章表現できる、いわゆるアカデミック・ライティングの方向を目指すのがよいと考えている。
- ・まとめとして発表会を行ったが、いずれも創意工夫に富む内容であり、プレゼンテーション能力の向上に役立つ授業だったと言える。
- ・今年度も他のチュータ教員の協力のもと全体としては良い授業ができたのではないかと感じている。ただ、講義形式の部分については学生から改善要求が出ているので来年度に生かしたい。
- ・今年度から学生と教員あるいは学生どうしでコミュニケーションをとる場面を多くした。この点は授業目標を達成するための授業改善につながっていると考えている。
- ・3回ずつではあるが、それぞれの担当者は、あらかじめ意図したことはほぼ達成できた。
- ・4名の教員によるリレー講義の形式をとったが、必ずしも各教員間の連絡が密ではなく、結果として講義全体としては多少散漫になった感がある。今後は事前によく打ち合わせをする必要がある。

う。

- ・4名のオムニバス形式のため内容の組み立てが難しい。一方、15回を一人で担当するには負担が大きい。
- ・この科目の性格付けや、日本語のどの分野を重点的に取り扱うのか等の見解を統一して進めたい。そのためには事前の勉強会が必要であるが、この科目の担当は補導教員がするため、毎年、メンバーが同じとは限らないので、なかなか統一的な見解で授業を進めるのは難しい。
- ・「日本語コミュニケーション」という科目名が適当とは思えない。「新入生ゼミ」というような科目名が良いのではないか？
- ・B9の「この授業に関して」という表記の「この」は不適切なので削除していただきたい。この大学（特に教育文化学部）では、その専門は一人しかいないので、自分の授業以外に直接役立てることのできる授業はないからである。
- ・この科目では質問項目のA3～6は合致した答えを出すのが困難である。

※FD活動の記録

- ・レポートを課し、学生とコミュニケーションを計った。
- ・日本語の教材を使用した。
- ・書籍・関連資料による学習。
- ・他教員からの授業内容の聞き取り。
- ・ディベートに関する文献調査。
- ・FD活動事例の調査等。

※今後のFD活動

- ・日本語関係の書籍講読など。
- ・日本語の教材を使用する予定。
- ・書籍・関連資料による学習。

【2-2】情報科学入門

- ・パソコンの使い方という授業では、全く使えない者から日常的に使っている者までレベル格差が大きくどのレベルに焦点をあわせるか難しい。
- ・学生の知識や経験、取り組み方に大きな差があり、一つのクラスでは対応できなくなっている気がする。
- ・パソコンの実技を習得・向上させる授業なのでそれまでの学生のパソコン経験によりレベルに大きな幅があるのが現状である。レベル別のクラス編成の必要性を感じる。
- ・学生の習熟度にあまりにも大きな差があるため、同一クラスでの授業に不満が出るのが当然である。クラス分けが必要と感じられる。(最近特に！)
- ・高校で既修得している学生と全くパソコンに触れていない学生が混在しており、教える内容に工夫が必要であった。レベルの低い課題を出して、できるだけパソコンに不慣れな学生も満足できるようにした。
- ・パソコン所有学生とそうでない学生には同等の予習・復習を求めることはできない。
- ・改装で2部屋を1部屋にまとめた教室だったので板書が見にくい、声が通りにくいなどの問題があった。今年度中に対処される予定。
- ・GUIに慣れた学生にCUI中心のUNIXオペレーションを半期で教えることはかなりの難事と思う。応用的な(発展的な)内容まで手が回らなかった。
- ・学生の情報リテラシー(能力)が増すにつれて、授業内容を変えていく必要を感じている。やがては情報科学入門は不要となるだろう。
- ・パソコンのハード・ソフトに制約がありすぎる。
- ・数年来要求しつづけているが、グラフィック関連のアプリケーションを導入してもらいたい。
- ・シラバスに記載した配点方法(レポートと筆記試験の点数配分)を途中で見直した。学生には既に(5月に)説明済み。

※FD活動の記録

- ・学科内でFD活動をした。
- ・学科内の教育改善ワーキングで検討した。
- ・他大学の教員と情報の交換(教育内容)を行なった。

※今後のFD活動

- ・学生のレベルに応じたクラス分けが必要だ。
- ・高校の情報教育に関する調査を行ないたい。

【2-3】英語・コミュニケーション英語

- ・「コミュニケーション英語」の共通テキストの他に映画『第三の男』を教材として使うことである程度学生の興味をひきつけることができたが、スクリプトの英語は難解な表現もあり学生によっては難しすぎると感じたようだ。2種類のテキストを使ったのはよかったと思う。
- ・小テスト、レポート等が時間が不足した。
- ・学生の意欲はかきたてられたが、定着度、理解度を測る小テスト等が少なかった。
- ・個人差を丁寧に見るには情報教室の利用がよいと判断したが、学生の利用がかなり制限されているので驚いた。
- ・学力差をある程度整理したクラス分けが必要ではないかと思う。
- ・受講者のレベルとシラバス目標値に大分ずれがあり変更せざるを得なかった。
- ・毎回プリントを配付し訳出させ受講者のつまづきを知り授業内容を変更していった。
- ・カセットテープの不具合があった。
- ・読解力の不足(基本的文法力なく、分詞、不定詞、受動態すら分からない)の現状から一步一步掘り起こす努力はした。
- ・テキストを使ってみると案外使い難く学生に申し訳なかった部分もあるが、一応文法と読解を有機的に関連付けて扱ったつもりである。
- ・この授業は付属CDの聴き取り、書き取りの宿題を課したり、スクリプトも準備してその音読もしたり精一杯学生サイドに立って授業をしたつもりなのに、思いの外評価がきびしいのは正直痛手だ。大いなる徒労感と農学部生の底意地の悪さを感じてやる気が失せる。こういう最後のオチをつけられるようだと授業評価アンケートそのものに否定的にならざるをえなくなる。
- ・学生がインプットするばかりでなくアウトプットの間を与えられることによって満足感というか達成感というかそういうものを味わうということが分かった。そのアウトプットの間をどのように多く設定するかが今後の課題になると思う。
- ・学生の能力のバラツキを考慮に入れると時間配分が難しい場合がある。学生に読ませる時間をどのくらい取るかなど、一層の工夫が必要であると感じた。グループワークは好評であったが、組織の仕方など難しい点も多い。
- ・テキストが学生によっては易し過ぎたかもしれないが、大方の学生には参考になるものだったのではないか。空調のない部屋だったので夏場は学生の集中力が欠けて授業がやりにくかった。扇風機は強くするとウルサイし、困ったものだ。空調のある部屋が一方であるので学生間の不公平が気にかかった。
- ・本授業では当初考えていた授業のシステムでは多くの学生が脱落しそうであったため途中でシステムの変更を行なったが、そのために多少の混乱が生じた。学生のレベルが混在しているため、進度や内容についてどのレベルに合わせるか今後の課題である。
- ・「専門外の英語」に対するせいか、学生に主体性が見られなかった。それがほぼ全員の気持ちを掴めるようになった。この地点から授業はスタートし、シラバスの目標への前進があると思う。ただ数名については前期が終わろうとする現在、気持ちを伝えられない。学生のレポートを見て大変

参考になり反省材料となった。

- ・受講者に自主性を持たせなければ授業目標の達成は遠い。
- ・学生の興味、好奇心を大いに刺激できたかどうか、学生の反応からは疑問が残った。
- ・英語学習への関心が高くない状況で学生の学習意欲や知的好奇心をも満足させる難しさを痛感している。なにか学生をひきつける工夫を考えていかなければならない。
- ・学生たちは概ね優秀だ。英語学習のイメージを変えさせることができたと思う。英語は楽しみながら習得できると思う。
- ・去年より今年のテキストはうまく行った。多様な教材を学生たちは楽しんでいただけた。
- ・教科書の内容を消化するのに精一杯のところがあった。課題の内容と量については再検討したい。
- ・予習は必要としない。テープを家でも聞くよう指示したが強制はしなかった。
- ・予習は課したがチェックはしていない。
- ・予習は当番だけ。復習も強要せず大学生としての自主性を育てることに努力した。
- ・自宅学習をもう少し徹底させるよう工夫すべきだった。
- ・教室が狭すぎる。机と椅子が足りなかった。
- ・会話練習をするにはクラスサイズが大きすぎる。
- ・クラスの人数が47人と比較的多いためその点をもっと考慮した授業計画(小グループのアクティビティを増やす、もっと一人一人に目が届くような指導形態など)を立てなければならなかったと感じた。
- ・クラスサイズは大きいグループ活動をやらせて効果的に教えることができた。
- ・リスニングの授業は初めてだったのでテープの操作に慣れていなかったことが学生をイライラさせてしまった。部分的にリーディングを入れたのはよかった。
- ・初めて音声をMDやCDでなくノートパソコンと iTunes で行ってみた。聞かせたいところを選んだり、繰り返したりするのが容易で大成功だったと思う。
- ・CD-ROM付属の教材を選んだがよくできていて好評だった。PowerPoint を用いて音読練習を行なったのはうまくいった。
- ・教えるのがとても楽しめた。
- ・ほとんどの学生は英語習得に向けて一生懸命努力した。
- ・このクラスはよいクラスだ。学生たちはよく勉強し教材も楽しんでいる。
- ・学生の評価にかなりバラツキがあるため今後どのようにこのアンケートの結果を活かしていけるかが難しい。学生の側にも「客観的」な評価をさせるような指導も必要ではないか。
- ・評価される側がアンケートを行なうのは？
- ・語学に関してこうしたアンケートは無意味。毎日の学習があつて初めて学生の英語力はアップする。
- ・「学生を満足させる授業」の意味が不明。語学学習は教授法の良し悪しではなく、いかに学習を習慣化するかが大事である。

- ・教科書の選定に反省すべき点があるかもしれないが、ピンからキリまでの学生を多人数相手にする授業に反省して改善する余地はない。

※FD活動の記録

- ・事前の準備を十分にした。
- ・語学の授業では意味がない。
- ・今年4月からのスタートでFD活動に不案内だった。
- ・文献, 相談。
- ・南ミシシッピ大学の Polk 教授に現地で会い, テーマとしている Welty についてアドバイスを受けた。
- ・FD活動の事例調査。
- ・英語教育の文献を参考にする。

※今後のFD活動

- ・語学の授業では意味がない。
- ・英語力と教授力の増強。
- ・文献, 相談。

【2-4】初修外国語

- ・一応学生とのコミュニケーションも良く学生も熱心に勉強した。どれほど理解できたかは別だが、ただ2単位だけの授業は担当者として残念。4単位くらいで一通りのことが教えられるので。
- ・今後は、テキストだけの講義ではなく、中国の現代事情や中国での体験談を講義に取り入れ学生が興味を持つ講義にして行きたい。
- ・少人数クラスなので色々うまくいったと思われる。仏語を第一希望とした学生だけだったのでこの点が昨年までと全く違った結果をもたらしたように思う。
- ・工学部は語学が苦手な学生が多いので、超初心者向きの参考書を3年続けて教科書とした。あまりにも大きすぎるクラスサイズは永遠の課題である。こちらも次第に学生を飽きさせずに分かり易い授業を心がけるようになった。
- ・同じ内容を何十年も教えているのでさすがに説明の仕方なども解かり易いものになったかと思う。脱線の雑談への批評も肯定的なものが多くなり改善されたと思う。しかし、何人かが言っているようにクラスサイズが大き過ぎることは大問題である。
- ・1クラスが78名の授業、語学の授業としては異常である。小クラスを作りたいと計画していたが、断われたのは残念である。授業、学生への配慮不足を痛感する。

※FD活動の記録

- ・自ら判断できるので何もFD活動なし。
- ・日本独文学会の教授法ゼミに参加した。
- ・教科書作成。
- ・教科書を書いた。授業方法に関する論文を書いた。
- ・同じ内容を何年もやっている中で工夫を重ねている。

※今後のFD活動

- ・日本独文学会の教授法ゼミに参加する予定。
- ・教科書作成。
- ・INTERUNIに参加して多くの大学の教師と授業方法について話したい。
- ・授業と学生の反応を見ながら改善を考える。

【2-5】健康スポーツ科学

- ・大学生にスポーツ教育をするということで授業目標は中等教育以上のことを示すものの実際にそのレベルまで引き上げることは困難である。
- ・今年度から健康スポーツ科学は授業形態を変えているため、この方法による授業評価は不可能である。今回も実技に対する評価だけを学生に求めた。
- ・学内にゴルフ打ちっ放し施設が必要だと思う。
- ・実技の授業には最低限、生命を保障し、障害を発生させないための道具や環境条件が不可欠となる。自らの授業を向上させる諸々の努力とともに、備品やスペースの充実が必要である。

【2-6】主題教養科目

- ・高等学校までの家庭科や保健の履修歴にも差があり、受講生128名の個々の理解度・レベルを把握することは難しいものがあつた。
- ・レベルの差が大変大きく、中程度を基準としたが、レベルが上(と思われる)人の不満もあり、その不満が耐えられなくなるとクラスを分けるしかないのかなと思う。
- ・授業内容に満足した学生とそうでない関心の持てなかった学生の二極に分化していたと思われる。担当者としては、受講生の半分程度がこの授業を聞いて、服装やファッション、食べ物や性などに関心を抱き、自分の暮らしの周辺や足下を見つめることができればよいと考えている。
- ・この授業は2人の教員で担当した。講義担当期間にそれぞれの実父が亡くなったが、互いに交代して休講をしないようにした。しかし、講義の順序が変則的になり、学生には迷惑をかけた。
- ・受講生130名は多すぎる。資料・ミニレポート・授業評価用紙などの配布にも時間がかかるし、双方向の授業を展開することが困難である。クラスサイズを小さくしてほしい。
- ・初年度は難しい。100名以下になると助かる。
- ・去年は小教室であつたので学生の集中力があつたが、今年は人数が多く大教室であつたので、遅刻や授業中の出入りがあつたりして、集中力がなかったように思う。結果的にどうかは成績を見ないと分からないが。
- ・L402教室いっぱいの受講者を対象に授業するのは辛い。
- ・学生の反応には、まずクラスサイズ(人数および教室の大きさ)に対する不満が多く、なんとかしたいとは思ふが悩ましい。
- ・座席指定にしたが、出席をとるのに時間がかかる。例えば、100名以上の受講生がいる講義にはTAを保障してほしい。
- ・大多数の学生が単位取得のみで出席。そういった学生相手に専門外の授業を行うのは大変であつた。詳しく深くやればますます理解されず、かと言って、作品を読むように言ってもすぐには実行できず困難であつた。
- ・今学期は出張が多く、授業内容をこなすのに手一杯のところがあり、学生にとっては少しあせり気味に見えたと思う。
- ・毎回受講カードを書いてもらうことによって、授業内容の理解度は高まっていくようだ。しかし、美術史以前の歴史に関する基礎知識の程度に相当ばらつきが見られ、分かり易い授業を心がけようとする結果的に内容のレベルを下げることになるというジレンマを抱え続けている。
- ・学生の求めとこちらのそれと互いに異なっているのかと思うことがある。固い考え方も必要かとも思うが、柔軟な考え方の先に発展があると考えているのだが。
- ・教授法などについては特にないが、極力、学生自身に考えさせるよう工夫している。
- ・4月末に喉頭炎にかかり声が出なくなった。そのため学生の承諾を得てシラバスを大幅に変更して、ビデオを多用した授業を行った。
- ・シラバスの項目ごとに完結させられない場合が何回かあつた。
- ・学生の理解度を踏まえるというより、準備した内容を処理することに追われるようになっていった。

まった。

- ・プリントの作成法とあわせメリハリが足りない。
- ・学生がバタバタと寝ているのは私の敗北の証だ。
- ・復習を指示した。
- ・総合的に判断して学生を満足させる授業が行なえたと思わないと、たまらない。
- ・大人数講義でも学生の実情にあった「問いかけ」を重視し、一緒に考えるスタイルの授業を目指したが、次第に内容の処理に終われ一方向の授業になっていった。その結果、倒れている(眠っている)学生が増加。どう情報を簡略化して「考え」やすくし、なおかつ懐疑派の学生も納得させる証拠を示せるか方法の工夫が必要だろう。
- ・評価される側がアンケートを行なうのは？
- ・看護学科の受講生が多いのでどうしても看護を意識して講義をしている。しかし、他学部・学科の学生にとってはあまり面白くないかもしれない。
- ・授業中の学生の反応が初めのうちは極めて鈍く、これまでになく雰囲気づくりに苦勞したが、寄せられたコメントを見ると、意外にも好意的なものが多く、正直驚いている。「出席を評価してくれないなんて毎回来ている学生がかわいそうだ」という意見も中にはあったが、大人数が受講する講義において、単に「教室にやって来て座っている」という状態をなぜ評価すべきなのか私には理解できない。(シラバスにも出席は考慮しない旨明記している。)
- ・評価できる点は、対話を意識して授業したこと。反省すべき点は声を大きくゆっくり話すこと。
- ・電磁気学の授業時間が不足した。次年度は実験を見せたい。
- ・予定していた内容が授業回数に比べ多すぎたので次年度は力学を中心とした内容にする。
- ・教室の黒板のサイズに適した板書をもう少し工夫したい。
- ・今年度は工学部の特別な教育プログラムに参加し、高校時に物理を全く習っていない学生に対して補講を行った。満足している学生もいるので多少の効果はあったと感じている。
- ・授業内容を身に付けさせるために授業時間の20～30分間、毎回小テストを実施し、解答して内容を説明した。小テストは最後に採点して返還した。学生の理解度に幅があり、細かい点に注意が届かなかった点は反省すべき所である。
- ・クーラーが必要との学生の声を切実に受け止め、来年度当初には全学部全講義室が空調完備してからFDを議論すべきではないだろうか。
- ・新テキストがややレベルが高くまた眠る学生が多かったことから予定の進度より遅れてしまった。
- ・昨年度のテキストに問題があったので新しいテキストを用いたが、学生のレベルに必ずしもマッチしなかった。また午前中に体育の授業があり眠る学生が多かった。
- ・試行錯誤の連続。但し、満足している学生もいるようだ。
- ・受講者数が多いので大変であるが、昨年度出来なかった課題レポートを今年度は課すことができた。
- ・学生の理解度を踏まえた授業について64名中9名が「あてはまらない」と回答しており、2006年度に向けて改善が必要である。

- ・シラバスの範囲が広いと、もう少し集中と選択が必要かもしれない。全般的には一年目としてそれなりの水準は保てたのではないかと。
- ・スライドを取り入れた授業を検討したい。課題、宿題レポートの回数を増やした方が良いか検討する。
- ・演習を実施しているため講義に当てる時間を十分確保できていない。
- ・教科書の内容をすべて授業中に話すためポイントを強調しきれていない。
- ・学生のどのレベルに講義内容を設定すべきかが難しいと考える。
- ・学生にとっては学んだことのないテーマをやさしいとえを示し理解の向上を図った。朝1コマ目の授業に遅刻者が多いのには手を焼く。居眠りは強く注意している。
- ・器具の面で言えばプロジェクターを設置していただきたい。
- ・課題を課さなかったことが反省点。
- ・DVDの利用が効果的であった。
- ・学生のバックグラウンド(レベル)が均一でないため授業内容のレベル設定が難しかった。
- ・社会システム課程の学生の勉学態度はよい。農学部・工学部・教育文化学部地域文化課程、生活文化課程、学校教育課程には一部著しく態度の悪い学生がいる。しゃべりがひどくて注意をした回数が過去最高である。勉学態度の悪い学生にとっては、段階を追って論理的に展開する私の授業は興味以前に理解不能なものとなっただろう。それは私の責任ではない。
- ・この授業については①学問的水準を落とさないこと、②要点を分かり易く教えること、③対象の複雑性を知ってもらうために細かい論点まで省略せずに教えること、④シラバス通りに予定を消化すること、を心がけているが、①と②、③と④はそれぞれ矛盾する面があり、両立が難しいが、プリント教材を配るなどして、なんとか両立できていると思う。
- ・教育実習で100名程度が休むことが判明したため授業計画を変更せざるを得なかった。
- ・4学部から200名以上の学生を対象とする授業の難しさを改めて感じている。学生の中の基礎知識の違いがとても大きどのレベルに合わせるべきかで毎年悩む。基礎のある学生にはそれなりに満足してもらえたと思うがそうでない学生には苦痛が大きかったかもしれない。
- ・授業内容の難易度の設定が難しいと感じる。生物系の学生、工学系の学生など、知識のバックグラウンドに応じていくつか同種の授業を設けるということも共通教育全体の課題として検討してもらえれば幸いだ。
- ・本年度は学期初めに体調を壊し、入院する事態があったため、授業をするだけで精一杯であった。
- ・講義のレベル設定がやや高いとの声があった。学生の自学自習等で補えるよう工夫したい。
- ・所用で休講せざるを得ない場合があり、学部ごとの事情が異なるため、補講の設定が非常に困難であった。補講期間の拡充を要望したい。
- ・テキスト等を用いてももう少しレベルを下げた方が良いかもしれない。内容を考え直すべき時期と思われる。
- ・本年度テキストを採用した点は学生にとって分かり易くなったと判断される。その分イメージな取

り組みになったきらいがあるかもしれない。

- ・受講者数約90名と例年より少なくほぼ適正であると感じられた。私語も例年より少なかった。しかし、寝ている学生も多く、発問に対して反応する学生は2、3割である。また、マイクの関係で教室の後まで行くことができない。学生とのコミュニケーションの方法を考える必要がある。
- ・受講者があまりにも多すぎてレポート等の課題を与えることが困難であった。
- ・昨年度に教室に新たに設置された液晶プロジェクターの他、視聴覚教材(DVDレコーダー、ビデオデッキ)を有効利用した。
- ・当初予定していた教科書が講義直前に品切れとなり、しかたなく別のテキストを使おうとしたが、やはりどこか中途半端になりがちだった。来年度はプリントだけでやりたい。
- ・パワーポイント、ビデオ教材を使用し、学生の関心を引くように心がけた。レポート課題(定期試験以外で)を課し、授業時間外での学習を促した。
- ・生物を良く(非常に良く)知っている獣医学・農学部学生と高校でも生物を履修していない工学部学生が混在しており、工夫はしているが、全学生を満足させるのは困難。
- ・機器の有効利用を考えたい。
- ・農工教の学生が混在する中で、どの学生を基準に考えるかの的がしぼり切れなかった。演示実験をできるだけ取り入れたが概ね好評であったと思う。
- ・「学生による授業評価」調査票の11(「学習環境は適切だった」)は「授業」評価の項目としてはふさわしくないと思う。(「教員の授業改善につなげ」ることを目的とした調査であるにもかかわらず、教室の照明や空調等、教員の努力では改善がほとんど期待できない、いわば所与の条件について尋ねるのはおかしい。)同様の理由で、10(「クラスサイズは適切だった」)も項目からはずすべきである。(サイズが大きすぎる、小さすぎるといった場合も、教員個人の判断・権限で受講者数を調整できるシステムにはなっていないはずなので。)
- ・「担当教員による回収」では公正さの確保ができないゆえ、現行方式ならばアンケート自体を廃止すべき。(無意味なアンケートは労力の無駄。)
- ・担当教員に最終的にアンケート用紙を返却することをやめるべき。(公正さの確保により、学生の意見をより正確に反映させることができる。)

※FD活動の記録

- ・FD関連の書籍やWeb サイトを読んだ。
- ・工学部内の物理科学教員間ネットワークに参加した。
- ・学科の物理科学教員間ネットワークに参加した。
- ・昨年度実施した物理科学教員間ネットワークの議論を参考にした。
- ・授業科目グループ内の話し合い。
- ・講義内容・方法の再検討をした。
- ・講義資料の改善。
- ・新しい情報を得、内容に加えた。

- ・個人HPを用いて学生による授業評価や質問に回答してきた。
- ・講義方法についての文献講読。

※今後のFD活動

- ・プリント・ノートの整備改善。
- ・講義内容・方法の再検討をする。

【2-7】選択教養科目・専門基礎科目

- ・スタート時から学生の反応を見ながら教材を選んだが、このクラスがめざす作業について来られない学生たちは切り捨てざるを得なかった。ほぼ受講希望者の半数がついて来て、そのまた半数がなんとかという成績を得た。
- ・教員一人とTA一人で体育館内のスポーツ(バスケットボール, バレーボール, バドミントン, 卓球)を指導することはなかなか難しい。学生が主体的に学び, 課題解決に向かえるような環境作りに力を入れた。また, 単なる「遊びの時間」にならないよう, 毎時の反省や次時の課題等, 記録を提出させた。
- ・ヘルスサイエンスの当初の授業目標は達成されたと思う。予習復習についてはスライド中心であるため, まとめの用紙がなかった点が反省点で, これについては後期からは教科書が間に合うため改善される。学生教員相互にコミュニケーションのとれた講義だった。
- ・この科目は選択で受講者が60数名であったが, 時間をうまく設定すればもっとたくさんの受講生が見込めれると思う。学外からも講師を呼んでより充実したものにすべきであろう。
- ・この授業は長く担当していてやり易かった。いつもクラスサイズが小さく意欲のある学生が大半なので効果を上げやすい。「辞書を使えばドイツ語を理解できる」という達成目標も, 定期試験の結果によれば, 達成されていることが分かり, 満足している。
- ・最新の論文を紹介したり, 知的好奇心をかきたてる授業は行えたと思うが, 具体的な予習復習を課すことをしなかったのもう少し学習意欲を高める方法を検討して行きたい。
- ・スライドを取り入れた授業を検討する。課題, 宿題, レポートの回数を増やすことを検討する。

※FD活動の記録

- ・山形大学の視察。
- ・担当するもう一人の教員と内容等を話し合った。
- ・FD関連書籍, 雑誌の講読。
- ・同じ内容を何十年も教えながら工夫している。

※今後のFD活動

- ・ネットを使った情報収集をより多く。
- ・授業しながら改善を工夫する。

第4章 科目ごとのデータ一覧

以下に平成17年度前学期のすべての共通教育科目(287科目)のうち「学生による授業評価」が提出された235科目のデータを掲載する。ただし、科目名・担当教員名は掲載しない。また、科目の順番は質問12(満足度)への評価の高い順に並べ直してある。

評価は「4:あてはまる。3:ややあてはまる。2:あまりあてはまらない。1:あてはまらない。」の4段階評価である。

また、質問項目は以下の12項目である。

A:回答者(学生)自身について

- 1 私は75%以上授業に出席した。
- 2 私は受講科目に対して真剣な態度で取り組んだ。
- 3 私はこの科目の「達成目標」に到達した。

B:担当教員の教え方について

- 4 授業はシラバスに沿って行われた。
- 5 授業内容は学生の理解度やレベルを踏まえたものだった。
- 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。
- 7 重要ポイントが明らかで、説明も分かり易かった。
- 8 学習意欲や知的好奇心を掻き立てたり満足させる教え方だった。
- 9 授業内容に見合った予習・復習や発展学習を課した。

C:その他

- 10 クラスサイズ(受講生数)は適切だった。
- 11 学習環境は適切だった。

D:総合的な授業評価

- 12 満足できる授業だった。

【1】日本語コミュニケーション(22科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.3	4.0	3.2	3.5	3.8	3.8	4.0	3.8	3.3	3.8	4.0	3.8
2	4.0	3.9	3.4	4.0	4.0	3.5	3.4	4.0	3.9	3.8	4.0	3.8
3	4.0	3.8	3.4	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.4	3.9	3.7	3.7
4	3.9	3.6	3.1	3.8	3.7	3.5	3.5	3.4	3.3	4.0	4.0	3.6
5	4.2	3.6	3.4	3.3	3.5	3.4	3.2	3.1	3.4	3.8	3.3	3.6
6	4.0	3.6	3.3	3.8	3.5	3.3	3.3	3.5	3.3	3.6	3.6	3.6
7	4.0	3.7	3.3	3.8	3.4	3.5	3.3	3.5	3.5	3.7	3.6	3.5
8	4.0	3.7	3.5	3.7	3.6	3.3	3.2	3.2	3.1	3.7	3.6	3.5
9	4.0	3.6	3.1	3.6	3.6	3.6	3.6	3.3	3.5	3.9	3.8	3.4
10	4.0	3.6	2.8	3.5	3.3	3.5	3.3	3.1	3.5	3.8	3.9	3.4
11	4.0	3.6	3.2	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.7	3.3	3.4
12	4.0	3.7	3.3	3.3	3.3	3.4	3.2	3.3	3.1	3.7	3.4	3.4
13	4.0	3.6	3.0	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0	3.6	3.5	3.3
14	3.9	3.6	3.3	3.5	3.6	3.5	3.4	3.3	3.4	3.7	3.4	3.3
15	3.9	3.6	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.3	3.6	3.6	3.3
16	4.0	3.5	3.1	3.3	3.2	3.2	3.1	2.9	3.2	3.8	3.7	3.2
17	3.9	3.5	3.2	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	2.9	3.7	3.4	3.2
18	3.9	3.6	3.2	3.4	3.5	3.2	3.2	3.0	3.0	3.7	3.5	3.1
19	3.8	3.4	3.2	3.4	3.4	3.3	3.1	3.0	3.2	3.6	3.3	3.0
20	4.0	3.2	3.1	3.5	3.2	3.2	3.1	2.8	2.7	3.5	2.6	2.9
21	3.9	3.4	2.9	3.5	3.1	3.1	3.0	2.6	2.9	3.4	3.3	2.8
22	3.9	3.2	2.9	3.3	3.1	3.1	2.8	2.8	2.8	3.1	3.2	2.6

※なお、4科目が未提出。

【2】情報科学入門(20科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.8	3.6	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	3.6	3.9	3.9	3.9
2	4.0	3.6	3.5	3.8	3.6	3.7	3.4	3.5	3.5	3.7	3.6	3.8
3	4.0	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.3	3.9	3.8	3.8
4	3.7	3.6	3.3	3.6	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.7	3.7	3.7
5	4.0	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.6	3.9	3.8	3.7
6	4.1	3.7	3.2	3.6	3.2	3.2	2.9	3.1	2.5	3.6	3.8	3.6
7	4.0	3.6	3.3	3.5	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.6	3.8	3.6
8	3.9	3.7	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1	3.7	3.4	3.5
9	3.9	3.6	3.3	3.6	3.2	3.5	3.3	3.3	3.3	3.4	3.5	3.5
10	4.0	3.6	3.3	3.6	3.1	3.3	3.1	3.0	3.0	3.7	3.7	3.5
11	4.0	3.5	3.5	3.7	3.5	3.3	3.3	3.3	3.1	3.7	3.7	3.5
12	3.9	3.4	3.2	3.5	3.2	3.3	3.3	3.2	3.2	3.6	3.7	3.5
13	4.0	3.5	3.2	3.8	3.7	3.5	3.4	3.1	2.8	3.7	3.7	3.4
14	4.0	3.6	3.0	3.8	2.9	3.1	2.9	3.1	3.2	3.5	3.5	3.3
15	3.8	3.4	3.2	3.5	3.2	3.0	2.8	3.1	3.0	3.6	3.7	3.3
16	3.9	3.4	3.0	3.4	2.6	3.0	2.8	2.9	3.0	3.6	3.5	3.2
17	4.0	3.5	3.0	3.7	2.6	2.7	2.6	2.7	2.6	3.8	3.8	3.1
18	4.0	3.2	3.0	3.5	2.7	3.3	3.0	2.9	3.0	3.6	3.8	3.1
19	4.0	3.5	3.1	3.4	3.2	3.1	3.1	2.8	2.3	3.9	3.4	3.0
20	3.9	3.5	3.0	3.4	2.8	2.9	2.6	2.8	2.8	3.5	3.5	2.7

※3科目が未提出。

【3】英語(29科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.4	3.2	3.8	4.0	4.0	3.8	3.9	3.7	3.8	3.8	4.0
2	4.1	3.0	2.9	3.8	3.4	3.4	3.3	3.5	2.9	3.8	3.9	3.8
3	4.0	3.3	3.0	3.9	3.5	3.6	3.4	3.6	3.4	3.8	3.7	3.8
4	3.9	3.4	3.2	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.2	3.7	3.6	3.7
5	4.0	3.5	3.5	3.8	3.7	3.8	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.7
6	4.0	3.6	3.1	3.5	3.6	3.6	3.4	3.8	3.3	3.9	3.7	3.6
7	4.0	3.7	2.8	3.7	3.5	3.6	3.4	3.5	3.3	3.8	3.7	3.5
8	4.0	3.4	2.6	3.5	3.3	3.5	3.2	3.5	2.5	3.8	3.8	3.4
9	4.0	3.4	3.5	3.6	3.6	3.3	3.1	3.2	3.5	3.5	3.7	3.4
10	3.7	3.2	2.7	3.6	3.4	3.4	3.4	3.3	2.7	3.7	3.8	3.4
11	3.7	3.3	2.9	3.6	3.4	3.5	3.4	3.1	2.9	3.8	3.7	3.4
12	3.7	2.9	2.9	3.5	3.4	3.4	3.0	3.1	2.8	3.6	3.5	3.4
13	4.0	3.2	2.7	3.6	3.5	3.0	3.3	3.3	2.6	3.7	3.6	3.3
14	3.8	3.4	2.9	3.5	3.6	3.5	3.3	3.0	3.3	3.8	3.6	3.3
15	3.9	3.1	3.1	3.3	3.3	3.4	2.9	3.1	2.6	3.4	3.5	3.3
16	4.0	3.3	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.3	3.4	3.7	2.3	3.2
17	4.0	3.4	2.9	3.7	3.2	2.9	3.2	2.8	3.7	3.8	3.7	3.2
18	4.0	3.3	3.1	3.5	3.3	3.3	3.3	3.0	3.3	3.7	3.7	3.2
19	3.5	3.4	2.8	3.2	3.0	3.0	3.0	2.8	2.9	3.4	3.3	3.2
20	3.9	3.2	2.9	3.6	3.3	3.0	3.0	2.8	3.3	3.7	3.8	3.2
21	4.0	3.7	3.2	2.7	2.8	4.0	3.3	2.8	2.5	3.2	4.2	3.2
22	3.9	2.9	2.9	3.0	3.2	3.3	2.7	2.9	3.0	3.4	3.4	3.1
23	3.8	3.5	2.5	3.6	3.3	3.3	3.0	3.0	3.6	3.8	3.8	3.0
24	3.8	3.0	2.6	3.4	3.1	3.0	2.7	2.9	3.1	3.8	3.6	3.0
25	3.9	3.3	2.8	3.5	3.3	3.2	3.3	3.0	3.0	3.2	3.4	3.0
26	3.9	3.3	2.5	3.4	3.1	3.1	2.9	2.6	3.4	3.6	3.6	3.0
27	3.9	3.0	3.1	3.6	3.2	2.9	2.7	2.8	3.3	3.6	3.4	3.0
28	3.8	3.1	2.8	3.1	3.1	3.2	2.6	2.7	2.8	3.5	3.3	3.0
29	3.8	2.9	2.5	3.3	2.7	2.5	2.5	2.1	3.5	3.8	3.7	2.5

※1科目が未提出。

【4】コミュニケーション英語(28科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.7	3.3	3.8	3.9	3.8	3.9	4.0	3.5	3.9	3.5	3.9
2	3.9	3.6	2.9	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.3	3.8	3.9	3.8
3	3.9	3.7	3.0	3.6	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8
4	4.1	3.8	3.7	3.8	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.7	3.6	3.8
5	4.0	3.6	2.9	3.5	3.7	3.6	3.2	3.7	3.3	3.9	3.6	3.7
6	4.1	3.5	3.0	3.5	3.8	3.5	3.6	3.4	3.4	3.6	3.8	3.7
7	3.8	3.8	3.4	3.6	3.4	3.5	3.7	3.6	3.4	3.6	3.5	3.7
8	4.0	3.8	3.2	3.7	3.6	3.7	3.6	3.7	3.4	3.9	4.0	3.7
9	4.0	3.3	2.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.4	3.8	3.9	3.8	3.6
10	3.9	3.3	2.8	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	3.3	3.4	3.8	3.6
11	3.9	3.5	2.7	3.6	3.6	3.5	3.3	3.4	3.2	3.7	3.5	3.6
12	4.0	3.6	2.9	3.5	3.5	3.6	3.2	3.5	2.7	3.8	3.7	3.6
13	3.9	3.7	3.3	3.8	3.6	3.5	3.6	3.5	3.5	3.8	3.4	3.6
14	3.9	3.6	3.0	3.5	3.4	3.5	3.4	3.4	3.1	3.9	3.6	3.5
15	4.0	3.5	2.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3.1	3.5	3.7	3.6	3.4
16	4.1	3.5	2.9	3.4	3.6	3.4	3.3	3.4	3.6	3.4	2.8	3.4
17	4.0	3.7	2.8	3.7	3.6	3.8	3.4	3.3	3.1	3.9	3.9	3.3
18	3.9	3.2	2.9	3.8	3.6	3.6	3.6	3.2	3.4	3.7	3.7	3.3
19	4.0	3.5	2.9	3.6	3.3	3.3	3.0	3.3	3.1	3.7	3.7	3.3
20	4.0	3.4	2.4	3.6	3.6	3.6	3.2	3.2	3.3	3.7	3.6	3.2
21	3.9	3.3	2.8	3.5	3.4	3.3	3.3	3.0	3.7	3.6	3.8	3.2
22	4.0	3.3	2.9	3.5	3.4	3.0	3.1	3.1	3.1	3.7	3.6	3.2
23	4.0	3.3	2.6	3.7	3.5	3.5	3.5	3.1	3.5	3.8	3.6	3.1
24	3.8	3.0	2.6	3.3	3.3	3.3	3.0	2.8	3.3	3.6	3.4	3.1
25	3.8	3.1	2.6	3.4	2.9	2.9	3.0	2.8	2.9	3.4	3.5	3.0
26	4.0	3.1	2.2	3.2	3.0	3.4	2.9	2.5	3.4	3.7	3.7	2.9
27	3.9	3.1	2.8	3.5	3.1	3.3	3.1	3.0	3.2	3.7	3.5	2.9
28	4.0	3.0	2.3	2.7	2.2	1.9	1.8	1.8	2.8	3.7	3.6	2.0

※なお、「学生による授業評価」が未提出の科目はない。

【5】初修外国語(32科目) ※未提出は8科目

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.4	3.8	3.8	3.5	3.9	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9
2	3.8	3.6	3.4	3.5	3.8	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4	3.7	3.6
3	3.8	3.2	3.1	3.2	3.8	3.4	3.7	3.4	3.4	3.4	3.7	3.6
4	4.0	3.6	2.9	3.8	3.5	3.5	3.4	3.3	3.3	3.8	3.7	3.6
5	4.0	3.5	2.8	3.7	3.8	3.4	3.6	3.2	3.2	3.7	3.7	3.6
6	3.9	3.5	2.9	3.7	3.5	3.4	3.6	3.2	3.6	3.7	3.8	3.5
7	3.9	3.4	3.0	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.1	3.7	3.6	3.5
8	4.0	3.5	3.0	3.4	3.4	3.2	3.0	3.2	3.7	3.9	3.8	3.4
9	4.0	3.5	2.8	3.6	3.3	3.4	3.6	3.2	3.1	3.1	3.6	3.4
10	3.9	3.3	2.8	3.7	3.4	3.4	3.5	3.1	3.5	3.8	3.8	3.4
11	3.8	3.1	2.6	3.6	3.4	3.4	3.3	2.7	2.9	3.3	2.9	3.4
12	4.0	3.5	2.9	3.6	3.3	3.2	3.3	3.0	3.6	3.7	3.7	3.4
13	3.9	3.7	3.1	3.5	3.5	3.3	3.4	3.2	3.6	3.7	3.7	3.4
14	3.7	2.7	2.9	3.8	3.7	3.5	3.7	3.0	2.7	3.2	3.6	3.4
15	4.0	3.4	3.2	3.4	3.2	2.9	3.0	3.2	3.6	3.8	3.8	3.3
16	3.9	3.5	3.1	3.6	2.9	3.0	2.8	2.9	3.2	3.4	3.6	3.3
17	4.1	3.6	3.2	3.5	3.0	2.9	2.9	3.2	3.4	3.6	3.5	3.3
18	4.0	2.9	2.4	3.6	3.3	3.3	3.4	2.9	2.4	3.7	3.7	3.3
19	4.0	3.6	2.7	3.5	3.3	3.3	3.2	3.0	3.5	3.6	3.6	3.3
20	3.8	3.0	3.0	3.4	3.4	3.0	3.1	3.1	2.7	3.6	3.5	3.2
21	3.9	3.4	2.9	3.5	2.9	3.1	2.8	2.6	3.0	3.7	3.4	3.2
22	3.9	3.2	2.3	3.6	3.3	3.1	3.2	2.9	3.5	3.6	3.7	3.2
23	4.0	3.5	2.7	3.5	3.4	3.0	3.0	2.7	3.4	3.6	3.6	3.2
24	3.9	3.4	2.9	3.6	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.5	3.4	3.2
25	3.9	3.2	2.7	3.6	3.3	3.2	3.1	2.9	3.3	3.3	2.8	3.2
26	3.9	3.4	3.0	3.5	3.5	3.2	3.3	3.1	3.2	3.5	3.5	3.2
27	3.9	3.2	2.7	3.6	3.1	3.3	3.2	2.8	3.1	3.6	3.6	3.1
28	3.9	3.3	2.8	3.2	3.4	2.9	2.9	2.8	2.5	3.6	3.7	3.0
29	3.9	3.6	3.2	3.4	2.7	3.1	2.7	2.7	3.1	3.5	3.7	2.9
30	3.8	3.0	2.9	3.2	2.3	2.7	2.6	2.4	2.8	2.7	3.1	2.9
31	3.9	3.2	2.9	3.3	3.1	2.7	2.8	2.5	3.1	3.3	3.0	2.9
32	2.6	2.0	1.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.0	1.8	2.4	2.1	2.3

【6】健康スポーツ科学(5科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.7	3.3	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.0	3.9	3.4	3.9
2	4.0	3.8	3.5	3.7	3.9	3.7	3.6	3.6	2.9	3.3	3.4	3.9
3	4.0	3.8	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.5	3.0	3.3	3.1	3.7
4	4.0	3.8	3.6	3.6	3.6	3.8	3.6	3.7	2.8	3.6	2.9	3.7
5	4.0	3.8	3.4	3.8	3.7	3.8	3.5	3.4	2.7	3.4	3.1	3.6

※20 科目が未提出。

【7】主題教養科目(現代の社会と倫理, 人間と文化, 現代社会の課題)(23科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.5	3.1	3.1	3.6	3.2	3.4	3.6	2.7	3.2	3.4	3.5
2	3.8	3.4	3.3	3.3	3.5	3.4	3.2	3.5	2.8	3.5	3.7	3.5
3	4.0	3.3	3.1	3.6	3.5	3.5	3.3	3.3	2.6	3.4	3.5	3.4
4	3.9	3.2	3.0	3.6	3.3	3.5	3.2	3.1	2.7	3.6	3.5	3.4
5	3.9	3.2	3.0	3.6	3.7	3.2	3.3	3.2	2.5	3.6	3.6	3.4
6	3.8	3.1	3.1	3.6	3.6	3.4	3.5	3.2	2.6	3.5	3.7	3.4
7	4.0	3.6	3.2	3.6	3.5	3.5	3.3	3.2	3.0	3.4	3.6	3.3
8	3.9	3.3	3.2	3.5	3.2	3.2	3.1	3.1	2.7	2.9	3.3	3.2
9	3.9	3.2	2.9	3.4	3.3	3.2	3.1	3.2	2.5	3.4	3.2	3.2
10	3.9	3.4	3.2	3.5	3.5	3.2	2.9	3.1	2.7	3.3	3.3	3.2
11	3.9	3.3	2.8	3.3	3.2	3.0	3.1	3.1	2.9	3.2	3.5	3.2
12	3.9	3.0	2.8	3.4	3.3	3.2	3.1	3.1	2.4	3.1	2.6	3.1
13	3.9	3.3	3.1	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.3	3.1
14	3.9	3.3	3.2	3.4	3.2	3.2	3.1	2.9	2.8	3.2	3.5	3.1
15	3.9	3.0	2.7	3.4	3.2	3.0	2.9	2.8	2.6	3.4	3.5	3.0
16	3.7	2.9	2.8	3.1	3.0	2.7	2.7	2.9	2.5	3.5	3.5	3.0
17	3.8	2.9	2.8	3.6	3.2	3.1	3.1	2.8	2.4	3.6	3.7	3.0
18	4.0	3.2	3.0	3.2	2.9	2.7	2.4	2.8	2.4	2.8	3.4	2.9
19	4.0	3.0	2.3	2.9	2.4	2.9	2.6	2.7	1.6	2.7	3.7	2.9
20	3.9	3.0	2.8	3.3	2.8	2.7	2.5	2.8	2.4	3.3	3.4	2.8
21	3.9	3.0	2.4	3.6	2.5	2.7	2.6	2.6	2.0	3.6	3.7	2.7
22	4.0	3.0	2.6	2.3	2.2	2.3	2.0	2.2	2.1	3.1	3.3	2.3
23	3.9	2.9	2.1	2.7	1.7	1.8	1.6	1.7	1.9	3.2	3.5	1.9

※3科目が未提出。

【8】主題教養科目(自然と生命)(21科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.6	3.3	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.2	3.7	3.9	3.8
2	3.9	3.3	3.3	3.7	3.6	3.6	3.6	3.4	2.9	3.6	3.5	3.5
3	3.9	3.4	2.9	3.6	3.4	3.4	3.4	2.9	3.0	3.6	3.8	3.5
4	3.9	3.5	3.0	3.7	3.2	3.2	3.3	3.0	3.2	3.6	3.7	3.4
5	3.8	3.5	3.3	3.6	3.5	3.4	3.2	3.2	3.0	3.4	2.7	3.4
6	3.9	3.5	3.2	3.6	3.4	3.5	3.4	3.3	3.1	3.4	2.5	3.4
7	3.9	3.1	2.8	3.8	3.2	3.3	3.0	2.8	3.1	3.5	3.5	3.3
8	4.0	3.2	2.8	3.6	3.2	3.3	3.3	2.8	3.2	3.5	3.4	3.3
9	3.6	3.0	2.8	3.6	3.2	3.5	3.1	3.1	2.3	3.7	3.7	3.3
10	4.0	3.3	3.1	3.4	3.1	3.6	3.5	3.4	2.5	3.8	3.8	3.3
11	4.0	3.5	2.9	3.7	3.3	3.3	3.1	3.2	3.5	3.7	3.7	3.2
12	4.0	3.4	3.1	3.5	3.4	3.4	3.2	3.0	2.8	3.7	3.7	3.1
13	3.9	2.5	2.4	3.7	2.9	3.1	2.8	2.7	2.4	3.2	3.0	2.9
14	3.9	3.0	2.6	3.6	3.3	3.3	2.9	2.6	2.3	3.4	3.6	2.9
15	4.0	3.7	2.7	3.4	2.9	2.7	2.7	2.5	2.8	3.2	3.4	2.8
16	3.4	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6	2.4	2.4	2.5	2.9	3.0	2.7
17	3.9	2.8	2.3	3.1	2.4	2.7	2.6	2.5	2.7	3.6	3.2	2.7
18	3.9	2.8	3.0	3.2	2.8	2.5	2.4	2.4	2.8	2.3	2.7	2.6
19	3.9	2.5	2.3	3.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.8	3.6	3.0	2.5
20	3.8	2.9	2.3	2.9	2.3	2.8	2.5	2.3	2.0	3.5	3.2	2.5
21	3.9	2.9	2.3	3.3	2.5	2.5	2.2	2.1	2.3	3.1	2.4	2.3

※1科目が未提出。

【9】選択教養科目(文化社会系, 科学技術系)(24科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.9	3.6	3.4	3.7	3.8	3.9	3.9	3.9	3.4	2.9	3.3	3.8
2	3.8	3.4	3.2	3.5	3.6	3.5	3.6	3.7	3.1	3.5	3.7	3.6
3	3.9	3.5	3.1	3.6	3.5	3.3	3.2	3.4	2.8	3.8	3.6	3.5
4	3.9	3.4	3.2	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	2.7	2.9	3.5	3.4
5	4.0	3.2	3.0	3.5	2.8	3.7	3.2	3.1	2.3	3.3	2.4	3.4
6	4.0	3.3	3.1	3.6	3.5	3.2	3.3	3.4	2.8	3.6	3.7	3.4
7	3.9	3.4	3.4	3.6	3.4	3.4	3.2	3.3	2.7	3.3	3.5	3.3
8	3.8	3.2	2.8	3.3	3.3	3.3	3.4	3.1	2.5	3.4	3.9	3.3
9	3.9	3.3	3.2	3.4	3.1	3.2	3.1	3.1	2.5	3.7	3.6	3.3
10	4.0	3.0	2.8	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	2.5	3.3	3.8	3.3
11	3.9	3.5	3.0	2.9	2.9	3.0	2.7	2.8	2.1	2.8	3.8	3.2
12	3.9	3.2	2.9	3.6	3.2	3.2	3.2	3.0	2.8	3.6	3.5	3.2
13	4.0	3.5	3.1	3.5	2.9	3.3	2.9	3.0	2.8	3.4	3.6	3.1
14	4.0	3.5	2.6	3.7	3.1	3.1	3.1	3.2	2.7	3.3	3.7	3.0
15	4.0	3.2	2.7	3.4	2.7	3.0	2.4	3.0	3.2	3.5	3.5	3.0
16	3.9	3.1	3.0	3.5	3.5	3.2	3.3	3.0	2.2	2.7	2.0	3.0
17	3.8	3.2	3.0	3.3	3.1	2.7	2.8	2.9	2.5	3.4	3.2	2.9
18	4.0	3.0	2.8	3.6	2.8	2.6	2.6	2.7	2.1	3.8	3.7	2.9
19	3.8	3.0	2.9	3.2	3.1	3.0	2.8	2.9	2.2	3.3	3.1	2.9
20	3.8	3.1	2.7	3.4	2.8	2.9	2.8	2.6	3.0	3.5	3.6	2.8
21	3.9	3.3	3.0	3.4	2.8	2.5	2.6	2.6	2.2	3.0	3.3	2.7
22	4.0	3.1	2.6	3.5	2.7	2.3	2.3	2.5	2.5	3.5	3.8	2.5
23	3.9	3.0	2.6	3.4	2.9	2.6	2.4	2.4	2.3	3.6	3.5	2.5
24	3.9	2.8	1.8	2.5	1.5	1.9	1.4	1.9	2.3	3.5	3.7	1.9

※2科目が未提出。

【10】選択教養科目(生命科学系, 学際系, 生涯学習系, 外国語系)(22科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	4.0	3.9	3.7	3.9	3.9	3.7	3.8	3.8	3.2	3.8	3.6	3.9
2	3.4	3.3	3.1	4.0	4.0	3.7	3.9	4.0	3.6	3.9	3.7	3.9
3	4.0	3.4	3.4	3.7	3.8	3.8	3.7	3.8	3.0	3.3	3.5	3.8
4	4.0	4.0	3.5	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	4.0	3.7	3.2	3.8
5	3.9	3.2	3.2	3.7	3.6	3.7	3.7	3.3	3.7	3.8	4.0	3.8
6	3.9	3.8	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.2	3.7	3.6	3.7
7	4.0	3.8	3.7	3.7	3.7	3.3	3.3	3.4	2.2	3.6	3.5	3.7
8	3.9	3.2	2.7	3.6	3.0	3.6	3.5	3.5	2.3	3.9	3.8	3.5
9	4.0	3.3	3.2	3.7	3.4	3.6	3.4	3.3	2.7	3.6	3.7	3.5
10	3.8	3.6	3.3	3.7	3.7	3.4	3.4	3.2	2.8	3.8	3.7	3.5
11	4.0	3.8	3.3	3.9	3.7	3.6	3.1	3.1	3.3	3.8	3.3	3.4
12	3.9	3.4	3.2	3.5	3.5	3.4	3.1	3.1	2.4	3.6	3.7	3.3
13	3.4	3.3	2.9	3.4	3.0	2.9	2.7	3.1	2.4	3.5	3.4	3.3
14	3.8	3.2	3.0	3.7	3.3	3.6	3.3	3.1	2.8	3.6	3.6	3.2
15	3.9	3.2	2.8	3.4	3.1	3.1	3.0	2.8	2.4	3.6	3.6	3.1
16	3.9	3.4	3.1	3.5	2.8	3.3	2.9	3.1	2.9	3.5	2.8	3.1
17	3.6	2.9	3.0	3.2	3.3	3.1	3.2	3.0	2.8	3.4	3.5	3.1
18	4.0	3.0	2.9	3.3	3.3	3.1	3.0	2.7	2.4	3.4	3.5	3.0
19	3.9	3.1	2.9	3.5	2.6	3.1	2.8	2.8	2.4	2.9	3.2	2.8
20	3.9	3.1	2.8	3.2	2.6	2.7	2.5	2.6	2.7	3.5	3.5	2.6
21	2.4	2.0	1.8	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	2.1	2.2	2.0
22	3.9	3.3	3.0	3.6	2.7	2.4	2.3	2.1	3.0	3.3	3.7	2.0

※6科目が未提出。

【11】専門基礎科目(6科目)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
1	3.6	3.1	2.7	3.6	3.6	3.8	3.8	3.9	3.6	3.8	4.0	3.7
2	4.0	3.7	3.4	3.5	3.4	3.1	3.2	3.2	3.3	3.6	3.5	3.6
3	3.5	3.5	3.3	3.0	3.7	3.8	3.7	3.7	2.8	3.2	3.5	3.5
4	4.0	3.5	3.6	3.8	3.3	3.4	3.1	3.3	3.0	3.5	3.5	3.3
5	4.0	3.7	3.3	3.8	2.9	3.0	3.2	3.1	3.2	3.5	3.6	3.3
6	3.8	3.0	2.7	3.6	3.0	3.2	3.2	2.5	3.1	3.5	3.5	3.0

※なお、「学生による授業評価」が未提出の科目はない。

第5章 本調査の今後の課題

本報告書のデータによれば、共通教育への学生の評価はこの1年間で上がって来ていることは確かである。それは、第一に、各教員の取り組みの成果であるが、第二に、本調査を初めとするFD活動の成果でもあろう。

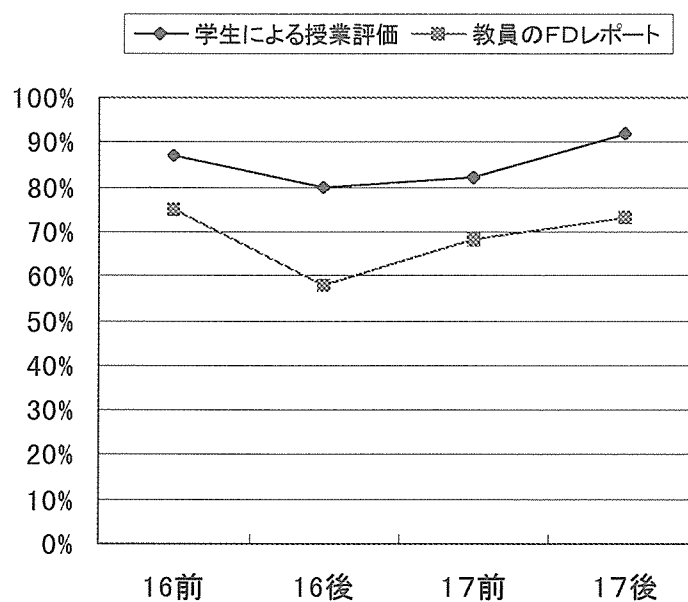
本調査の一層の改善のために、次の2点が今後の課題としてあげられている。

(1)回収率の向上

一番の問題は回収率のさらなる向上である。これまでの回収率を表にすると次のとおりである。

	学生による授業評価	教員のFDレポート
平成16年度前学期	87%	75%
平成16年度後学期	80%	58%
平成17年度前学期	82%	68%
平成17年度後学期	92%	73%

また、これをグラフで表すと次のようになる。



すべての科目についての調査を始めた16年度前学期に高い回収率を示した後、次の16年度後学期に減少し、その後、少しずつ回収率は上昇している。しかし、回収率の一層の上昇をもたらすには、何らかの手だてが必要であろう。

(2) 調査結果の活用

回収率を向上させるためにも、調査のやりっぱなしではなく、本調査に基づいた共通教育の改善が図られなければなるまい。例えば、共通教育のカリキュラムの改定の際にも、当然、「学生による授業評価」および「教員のFD活動レポート」が考慮されるべきである。そうすることで、学生や教員にとって、本調査は一層有益なものになるであろう。

今後の課題

- (1) 授業評価・FDレポートの回収率を上げる。
- (2) 調査結果を共通教育の改善に活かす。

「共通教育部自己点検・評価委員会」委 員 名 簿

◎は委員長、○は副委員長 (H 17. 10)

選出条項	職・所属	氏 名	備 考
3 条 1 号委員 (共通教育部長)	教 授 (農学部)	山 下 研 介	TEL : 7 1 6 1 E メール : a01105u@cc.miyazaki-u.ac.jp
3 条 2 号委員 (情報処理入門)	教 授 (医学部)	荒 木 賢 二	TEL : 2 0 1 6 E メール : taichan@med.miyazaki-u.ac.jp
" (外国語)	助教授 (教育文化学部)	○ 南 太一郎	TEL : 7 4 4 7 E メール : minami@cc.miyazaki-u.ac.jp
" (保健体育)	助教授 (教育文化学部)	玉 江 和 義	TEL : 7 5 5 6 E メール : k-tamae@cc.miyazaki-u.ac.jp
" (倫理・環境)	助教授 (医学部)	板 井 孝一郎	TEL : 2 3 2 4 E メール : koichiro@med.miyazaki-u.ac.jp
" (人文社会)	助教授 (教育文化学部)	石 川 千佳子	TEL : 7 5 3 3 E メール : e06505u@cc.miyazaki-u.ac.jp
" (自 然)	教 授 (医学部)	◎ 西 森 利 數	TEL : 2 1 6 5 E メール : ntoshi@med.miyazaki-u.ac.jp
" (複合・学際)	教 授 (医学部)	根 本 清 次	TEL : 2 6 0 2 E メール : nemoto@fc.miyazaki-u.ac.jp
3 条 3 号委員 (登録者選出)	助教授 (教育文化学部)	伊佐敷 隆 弘	TEL : 7 4 6 7 E メール : e02702u@cc.miyazaki-u.ac.jp
"	教 授 (医学部)	加 藤 貴 彦	TEL : 2 1 5 3 E メール : katoht@post.miyazaki-med.ac.jp
"	助教授 (工学部)	海 津 浩 一	TEL : 7 2 9 1 E メール : t0d113u@cc.miyazaki-u.ac.jp
"	教 授 (農学部)	甲 斐 重 貴	TEL : 7 1 8 4 E メール : s.kai@cc.miyazaki-u.ac.jp
3 条 4 号委員 (委員会必要)	助教授 (企画センター)	武 方 壮 一	TEL : 7 9 8 1 E メール : e0a059u@cc.miyazaki-u.ac.jp

※「木花キャンパス」から「清武キャンパス」へは、【95】の後に相手先内線番号を
「清武キャンパス」から「木花キャンパス」へは、【92】の後に相手先内線番号を
ダイヤルしてください。